

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業の実施状況等（令和3年度実施計画分）

計画書 No.	事業名	目的	実績	対象	事業費（円）	うち交付金（円）	事業始期	事業終期	効果検証	担当課
1	WEB会議用PC等購入事業	内部の課長等会議や外部とのWEB会議用として各課で使用するノートパソコン及びプロジェクターを購入する。	ノートパソコン 189,286円×14台×1.1=2,915,000円 プロジェクター 152,000円×1台×1.1=167,200円 合計 3,082,200円	村が実施	3,082,200	0	R3.4	R3.6	各課へWEB会議用のノートパソコンを配置し、外部とのオンライン会議用の端末として活用するほか、庁舎外の職員を参加対象としたリモート形式による役場の会議においても使用しており、役場内における会議のリモート化を推進することができた。	総務課
2	役場庁舎トイレ洋式化等改修事業	新型コロナウイルス感染症対策として、役場庁舎1階及び2階トイレの洋式化、手洗い場をセンサー式水栓へ改修する。	役場庁舎トイレ洋式化等改修工事 工事費用一式 2,480,000円×1.1=2,728,000円 対象外経費（和式便器撤去）▲250,006円 合計 2,477,994円	村が実施	2,477,994	2,477,000	R3.6	R3.9	新型コロナウイルス感染症対策において、菌が飛散しないためのトイレの洋式化及び手洗い設備のセンサー式水栓への交換を実施し、施設内の衛生面の環境整備を図るとともに感染防止対策を推進することができた。	総務課
3	災害備蓄品備品購入事業	避難者のソーシャルディスタンスを確保するための簡易型避難用テント及び感染者専用トイレを購入する。避難所における感染症拡大防止対策に必要な備蓄品を購入する。	非常用トイレ便座 6,800円×8台×1.1=59,840円 非常用トイレ（非常用排便収納袋） 24,000円×5箱×1.1=132,000円 簡易型避難用テント 8,820円×60組×1.1=582,120円 目隠しシート（簡易型避難用テント） 2,500円×10枚×1.1=27,500円 手指消毒液 2,272円×20本×1.1=49,984円 ウェットティッシュ 647円×100個×1.1=71,170円 石鹸（泡式ハンドソープ） 250円×5個×1.1=1,375円 使い捨て手袋 80枚（1箱） 750円×1箱×1.1=825円 合計 924,814円	村が実施	924,814	0	R3.6	R3.8	避難所開設の際に新型コロナウイルス感染症対策として必要な手指消毒液をはじめとする保健衛生用品や備蓄品が整備され、集団感染防止のための環境を整備することができた。	企画観光課
4	留寿都村地域活性化プレミアム付商品券発行事業	落ち込んだ村内消費者の購買意欲を高めることにより地域消費の拡大と地域経済の活性化に資することを目的に、商工会が行う留寿都村プレミアム付商品券発行事業に要する経費を補助する。	販売額5,000円/1セットで合計2,500セット プレミアム率50%（2,500円分）換金実績：99.23% 商品券換金分（プレミアム分）6,106,000円 運営事務費 600,000円 合計 6,706,000円	留寿都商工会への補助事業 商工会を実施主体とし、プレミアム商品券の印刷、周知、販売、換金作業を行う。村内商工業者等を商品券が使用できる特定事業者として、商工会が選定する。	6,706,000	5,465,000	R3.6	R4.2	プレミアム商品券は予定した枚数が完売し、換金率も99%を超えた。商品券により村内の消費を喚起するとともに、村内事業者の売り上げを下支えし、経営の安定化を図ることができた。	企画観光課
5	中小企業者等特別応援給付金	新型コロナウイルス感染症対策に伴う外出、多人数での会食及びイベントの自粛等による、売上減少等多大な経済的影響を持続して受けている村内中小企業者等に対する措置として、当座直面する支払いに充当して事業を継続させることを目的に、対象者に給付金20万円を支給する。	留寿都村内に事業所を有する中小企業者（商工会員・会員外問わず）で、令和3年1月～4月期いずれかの月期売上高が前年同月期若しくは前々年同月期の売上高より減少している64事業者 給付金 64事業者×200,000円=12,800,000円	新型コロナウイルス感染症対策に伴い、売上減少等多大な経済的影響を持続して受けている村内中小企業者等	12,800,000	12,800,000	R3.4	R3.7	売上減少等多大な経済的影響を受けている村内中小企業者等に対し支援を行うことにより、経済的影響を緩和し、事業の継続を図ることができた。	企画観光課
6	観光施設感染症対策事業（ベルトパーテーション及びサーマルカメラ購入）	道の駅230ルスツにおいて、来客者が密となる箇所が発生しないよう動線を整理するための仕切り（ベルトパーテーション）を購入する。 道の駅230ルスツ及びルスツ温泉内での新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、来客者の体温測定、マスク着用検知及び手指消毒のためのサーマルカメラを購入する。	ベルトパーテーション 7,982円×15本=119,730円 サーマルカメラ 60,000円×6台×1.1=396,000円 合計 515,730円	村が実施	515,730	515,000	R3.5	R3.5	ベルトパーテーション、サーマルカメラの導入により、施設内における新型コロナウイルス感染症拡大防止のための環境整備を図ることができた。	企画観光課

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業の実施状況等（令和3年度実施計画分）

計画書 No.	事業名	目的	実績	対象	事業費（円）	うち交付金（円）	事業始期	事業終期	効果検証	担当課
7	観光施設感染症対策事業（レバー・ハンドル式水栓交換）	基本的な感染防止対策として手洗い及び手指消毒を継続して実施するにあたり、不特定多数の来場者が利用する洗面所及び手洗い場等において出来るだけ手指等の接触を少なくする必要があることから、道の駅230ルスツ（地域資源交流センター・農林水産物直売所）、ルスツ温泉、ルスツふるさと公園、ルスツふれあい公園パークゴルフ場及びアカダモパークゴルフ場の手洗い水栓を接触が少ないレバー及びハンドル式水栓に交換する。	地域資源交流センター 31箇所 農林水産物直売所 1箇所 障害者トイレ 1箇所 ルスツ温泉 3箇所 ルスツふるさと公園 6箇所 ルスツふれあい公園パークゴルフ場 3箇所 アカダモパークゴルフ場 1箇所 計46箇所 交換費用一式 820,000円×1.1=902,000円 合計 902,000円	村が実施	902,000	902,000	R3.6	R3.9	手洗い水栓の交換により、手指等の接触回数が軽減されたことにより、施設内の衛生面の環境整備が図ることができた。	企画観光課
8	留寿都村遊園地券引換券配布事業	本村の観光施設について事業者への支援及び子育て世帯への支援策として、村内遊園地の1日入園券の引換券について園児から高校生までの児童生徒に配布し、新型コロナウイルス禍における観光事業者への施設利用促進による支援及び子育て世帯への主に夏季期間におけるレジャーへの支援を行う。	1日券について対象者となる園児から高校生まで配布を行い、併せて園児及び小学生については、保護者分として大人券を2枚の追加配布を行った。 大人券(高・保護者)：269枚×3,000円×1.1=887,700円 中学生券：49枚×2,500円×1.1=134,750円 小学生券：96枚×2,000円×1.1=211,200円 保育園児：40枚×1,300円=52,000円 通信運搬費 10,060円 合計 1,295,710円	村内の園児から高校生までの児童生徒及びその保護者	1,295,710	1,295,000	R3.6	R3.10	引換券については、全配布数のうち約7割の利用があり、売上減少等多大な経済的影響を受けている村内遊園地施設の利用が促進されるとともに、事業者の売上げを下支えすることができた。また、子育て世帯に対しては、コロナ禍による閉塞感を打破するとともにレジャー支出への支援を行うことができた。	企画観光課
9	消防災害備蓄品備品購入事業	消防署における感染症拡大防止対策に必要な感染症対応の被服（防護服）を購入する。	救急サポートウェア（防護服） 55,000円×8着×1.1=484,000円 合計 484,000円	村が実施	484,000	484,000	R3.9	R4.3	救急現場において、新型コロナウイルス感染症対策に必要な被服が整備され、感染拡大防止のための環境を整備することができた。	消防
10	三ノ原五輪会館備品購入事業	基本的な感染防止対策として手洗い及び手指消毒を継続して実施するにあたり、多数の住民が利用する洗面所等において出来るだけ手指等の接触を少なくする必要があることから、三ノ原五輪会館のトイレ及び調理室の手洗い水栓を接触が少ないレバー式水栓に交換する。	シングルレバー上部 5,625円×8個=45,000円 立上栓 8,150円×2個=16,300円 シングルレバー混合栓 25,400円×3個=76,200円 シングルレバー握え付け 3,625円×8カ所=29,000円 単水栓握え付け 4,100円×2カ所=8,200円 シングルレバー混合栓握え付け 5,100円×3カ所=15,300円 消費税 19,000円 合計 209,000円	村が実施	209,000	209,000	R3.6	R3.7	手洗い水栓の交換により、手指等の接触回数が軽減されたことにより、施設内の衛生面の環境整備が図ることができた。	住民福祉課
11	生き活き長寿振興券交付事業	新型コロナウイルス感染症の影響により感染予防等のため支出が増え、年金等の生活者にとっては家計を圧迫している状況であることから、75歳以上の後期高齢者を対象に、村内の事業者で利用可能な振興券を発行し、引き続き感染予防を継続してもらうとともに、併せて地域の商工事業者の活性化を図る。	長寿振興券印刷 57円×847枚×1.1=53,107円 長寿振興券封筒印刷 130円×290枚×1.1=41,470円 通信運搬費 事前案内及び申請書送付 定形郵便送付用 84円×290通=24,360円 定形郵便返信用 94円×290通=27,260円 振興券交付 定形郵便 94円×290通=27,260円 簡易書留 320円×290通=92,800円 換金手数料 10円×847枚×1.1=9,317円 生き活き長寿振興券交付金 一般 3,000円×267人=801,000円 5年未満 2,000円×15人=30,000円 銀河の杜 2,000円×8人=16,000円 合計 1,029,364円	村内の75歳以上の後期高齢者	1,029,364	1,029,000	R3.8	R4.3	支出が増加する中、振興券を支給することにより、後期高齢者の日常生活における経済的な負担の軽減を図ることができた。また、村内で利用可能な振興券により村内の消費を喚起するとともに、村内事業者の売上げを下支えし、経営の安定化を図ることができた。	住民福祉課

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業の実施状況等（令和3年度実施計画分）

計画書 No.	事業名	目的	実績	対象	事業費（円）	うち交付金（円）	事業始期	事業終期	効果検証	担当課
12	子どもセンター備品購入事業	基本的な感染防止対策として手洗い及び手指消毒を継続して実施するにあたり、多数の児童が利用する洗面所等において出来るだけ手指等の接触を少なくする必要があることから、各クラス及びトイレに設置している手動の水栓を自動水栓化する。	保育室6部屋×2台=12台（発電タイプ） トイレ4台（乾電池タイプ） 発電タイプ 68,300円×12台=819,600円 乾電池タイプ 49,700円×4台=198,800円 工事費、諸経費等 261,600円 消費税 128,000円 合計 1,408,000円	村が実施	1,408,000	1,408,000	R3.7	R3.12	手洗い水栓の交換により、手指等の接触回数が軽減されたことにより、施設内の衛生面の環境整備を図ることができた。	子どもセンター
13	放課後等学習支援事業	オンラインを活用した学習支援を実施するために必要となるノートパソコンを購入する。	ノートパソコン 85,000×1台×1.1=93,500円	村が実施	93,500	93,000	R3.4	R3.4	ノートパソコンの導入により、オンライン通信による学習支援の実施が可能となり、児童生徒が学習室を利用せず自宅から学習支援を受けることが可能となった。	教育委員会
14	留寿都中学校公務補給所網戸取付事業	公務補給所（管理室）の窓が網戸を設置できるサッシではないことから、サッシの加工及び網戸の取付により、換気を行う環境を整備する。	留寿都中学校公務補給所網戸取付工事 工事費用一式：30,000円×1.1=33,000円 合計 33,000円	村が実施	33,000	33,000	R3.6	R3.6	網戸の設置により、換気が可能となり、施設内において3密を避けるための環境整備を図ることができた。	教育委員会
15	留寿都中学校体育館非常ドア網戸取付事業	体育館非常ドアに網戸がないことから、網戸の取付により、換気を行う環境を整備する。	留寿都中学校体育館非常ドア網戸取付工事 工事費用一式：194,000円×1.1=213,400円 合計 213,400円	村が実施	213,400	213,000	R3.6	R3.6	網戸の設置により、換気が可能となり、施設内において3密を避けるための環境整備を図ることができた。	教育委員会
16	留寿都高等学校寄宿舎個室化に伴う居室整備事業	留寿都高等学校の寄宿舎について、これまで一部屋に対し複数名の部屋割りであったが、3密を避けるため一人一部屋に割り振ったところ部屋数が不足することから、現在使用されていない部屋を居室として整備し個室を追加する。また、使用されていない部屋には暖房機器が設置されていないことから、個室化にあたって石油暖房機を追加する。	留寿都高等学校寄宿舎石油暖房機集中制御システム石油暖房機追加及び中央操作盤移設工事 工事費用一式 4,400,000円×1.1=4,840,000円 留寿都高等学校寄宿舎居室改装工事 工事費用一式 184,000円×1.1=202,400円 合計 5,042,400円	村が実施	5,042,400	5,042,000	R3.7	R3.9	寄宿舎において不足する居室及び石油暖房機器が整備されたことにより、新たに生徒の個室を増やすことができたことから、3密を避けるための一人一部屋の体制を確保することができた。	教育委員会
17	留寿都高等学校寄宿舎個室化に伴う設備移設事業	留寿都高等学校の寄宿舎について、これまで一部屋に対し複数名の部屋割りであったが、3密を避けるため一人一部屋に割り振ったところ部屋数が不足することから、現在使用されていない部屋を居室として整備し個室を追加する。使用されていない部屋の整備及び個室の追加にあたり、寄宿舎の維持管理に必要な既存の設備の移設が必要となることから、個室化にあたって設備の移設を行う。また、女子棟1階の風呂の配管が冬になると凍結し使用不可となり、その結果、代替の2階の風呂が混雑し、密の要因となることから、これを解消するため女子棟1階風呂の配管を移設する。	留寿都高等学校寄宿舎アンブ移設工事 工事費用一式 220,000円×1.1=242,000円 留寿都高等学校寄宿舎自動火災報知設備受信機及び防火戸用運動制御器移設工事 工事費用一式 440,000円×1.1=484,000円 留寿都高等学校寄宿舎女子棟給湯配管やり替え工事 工事費用一式 128,000円×1.1=140,800円 合計 866,800円	村が実施	866,800	866,000	R3.7	R3.9	寄宿舎において不足する個室及び浴室が整備されたことにより、3密を避けるための一人一部屋の体制の確保及び住環境の整備を図ることができた。	教育委員会
18	公民館管理消耗品購入事業	新型コロナウイルス感染症対策として公民館の長机に置く卓上バーテーション及び固定部品の購入する。公民館におけるオンラインを活用した事業を行うため関連する消耗品を購入する。	スライド式卓上バーテーション 6,890円×6枚×1.1=45,474円 卓上バーテーション 1,800円×155枚×1.1=306,900円 飛沫防止パネルバーテーション特大 2,340×2枚×1.1=5,148円 厚み自在パネルスタンド 180円×90個×1.1=17,820円 卓上バーテーション固定部品 180円×57組×1.1=11,286円 ウイルス対策ソフト 3,700円×1個×1.1=4,070円 Webカメラ 9,000円×1個×1.1=9,900円 USBケーブル 2,000円×1本×1.1=2,200円 HDMIケーブル 2,640円×1本×1.1=2,904円 合計 405,702円	村が実施	405,702	405,000	R3.6	R3.7	新型コロナウイルス感染症対策において、3密を防ぐために必要となる消耗品等が整備され、感染防止のための環境整備を図ることができた。	教育委員会

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業の実施状況等（令和3年度実施計画分）

計画書 No.	事業名	目的	実績	対象	事業費（円）	うち交付金（円）	事業始期	事業終期	効果検証	担当課
19	公民館管理備品購入事業	新型コロナウイルス感染症対策として必要となる備品を購入する。 ①公民館トイレ手洗い水栓をセンサー式水栓に交換 ②公民館入口に設置する体表温度測定端末③各部屋に設置するCO2濃度測定器④オンラインを活用した事業等用としてノートパソコン及びスピーカーフォンを購入する。⑤公民館調理室の水栓をレバー式混合栓に交換する。	センサー式水栓 5機 250,000円×1式×1.1=275,000円 体表温度測定端末 150,000円×1台×1.1=165,000円 CO2濃度測定器 9,090円×12個×1.1=119,988円 ノートパソコン 94,000円×1台×1.1=103,400円 スピーカーフォン 20,000円×1個×1.1=22,000円 レバー式混合栓 2機 72,000円×1式×1.1=79,200円 合計 764,588円	村が実施	764,588	764,000	R3.6	R3.7	新型コロナウイルス感染症対策において、3密を防ぐために必要となる備品等が整備され、感染防止のための環境整備を図ることができた。	教育委員会
20	村民水泳プール更衣室換気扇取付事業	プール更衣室2室の湿気除去及び空気入れ替えを行うため、換気扇を取り付ける。	換気扇取付工事 工事費用一式：73,000円×1.1=80,300円 合計 80,300円	村が実施	80,300	80,000	R3.4	R3.6	換気設備の設置により、施設内において3密を避けるための環境整備を図ることができた。	教育委員会
21	【国庫補助事業】 学校保健特別対策事業費補助金	(感染症対策等の学校教育活動継続支援事業) 学校教育活動における感染症対策に必要な備品等の購入及び環境整備を行う。	補助対象経費 センサー式水栓交換（小学校） 水栓交換（高等学校） CO2濃度測定器（小学校・中学校・高等学校） 23台 サーモマネージャー（中学校・高等学校・寄宿舎） 6台 ジェットヒーター（中学校） 1台 自動噴霧器（中学校） 6台 加湿空気清浄機（寄宿舎） 2台 消耗品（高等学校・寄宿舎） 217,338円 合計 2,501,521円 国庫補助金額=2,501,521円×1/2≒1,250,000円 2,501,521円-1,250,000円=1,251,521円 合計 1,251,521円	村が実施	1,251,521	1,248,000	R3.4	R3.10	新型コロナウイルス感染症対策において、3密を防ぐために必要となる備品等が整備され、集団感染防止のための環境整備を図ることができた。	教育委員会
22・32	留寿都村観光振興特別対策事業補助金	新型コロナウイルス感染症拡大による留寿都村への観光客数の落ち込みを回復するべく、留寿都村の冬季における観光資源や魅力を電子媒体（インターネット、SNS等）及び紙面媒体（旅行雑誌等）による広告宣伝を実施することで、留寿都村全体の観光事業のイメージアップを図る事業を実施する観光事業者に対する支援策として一定額を補助する。	村内に営業所を持つ旅行業法の規定に基づく旅行者 合計1事業者 補助金 1事業者×9,000,000円=9,000,000円	村内に営業所を持つ旅行業法の規定に基づく旅行者	9,000,000	4,897,000	R3.9	R4.3	新型コロナ禍により、落ち込んだ観光客に対するイメージアップを図るとともに、影響が大きい観光事業者への支援を行い、村内経済の活性化を図ることができた。	企画観光課
23	公民館第1会議室網戸取付事業	留寿都村公民館第1会議室の窓が網戸を設置できるサッシではないことから、サッシの加工及び網戸の取付により、換気を行う環境を整備する。	公民館第1会議室網戸取付工事 工事費用一式：114,000円×1.1=125,400円 合計 125,400円	村が実施	125,400	125,000	R3.7	R3.8	網戸の設置により、換気が可能となり、施設内において3密を避けるための環境整備を図ることができた。	教育委員会
25	武道館備品購入事業	基本的な感染防止対策として手洗い及び手指消毒を継続して実施するにあたり、多数の住民が利用する洗面所等において出来るだけ手指等の接触を少なくする必要があることから、留寿都村武道館手洗い場の水栓を接触が少ないレバー式水栓に交換する。	水栓交換（武道館） 25,000円×1式×1.1=27,500円 合計 27,500円	村が実施	27,500	27,000	R3.10	R3.11	手洗い水栓の交換により、手指等の接触回数が軽減されたことにより、施設内の衛生面の環境整備を図ることができた。	教育委員会
26	公立学校情報機器整備費補助金（上乗せ単独事業分）	公立学校情報機器整備費補助金（公立学校情報機器購入事業）における国庫補助以外の上乗せ単独事業分	生徒用ノートパソコン14台 国庫補助を含めた総事業費：54,700円×14台×1.1=842,380円 国庫補助対象経費：45,900円×14台≒642,000円 842,380円-642,000円=200,380円	村が実施	200,380	200,000	R3.5	R3.7	1人1台の端末の整備を進めることにより、児童生徒へ端末を歩き渡らせることができ、臨時休校等の期間中におけるオンライン授業を行うための環境整備を図ることが出来た。	教育委員会
27	留寿都高等学校情報機器購入事業	留寿都高等学校において臨時休業に備えたオンライン授業を実施するため、不足するノートパソコンを追加で購入し環境を整備する	生徒用ノートパソコン 54,700円×46台×1.1=2,767,820円 付属機器（テンキー）（一式） 165,000円 合計 2,932,820円	村が実施	2,932,820	2,932,000	R3.5	R3.9	1人1台の端末の整備を進めることにより、生徒へ端末を歩き渡らせることができ、臨時休校等の期間中におけるオンライン授業を行うための環境整備を図ることが出来た。	教育委員会

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業の実施状況等（令和3年度実施計画分）

計画書No.	事業名	目的	実績	対象	事業費（円）	うち交付金（円）	事業始期	事業終期	効果検証	担当課
28	留寿都村スキー場新型コロナウイルス感染症予防対策強化支援金	令和3年度ウィンターシーズンにおける新型コロナウイルス感染症防止のため、スキー場運営事業者が三密対策や感染防止を避ける取り組みを実施しているが、さらに感染症防止策をより一層強化徹底し、世界一安全安心なスキー場づくりを実践していることを国内外にアピールしつつ、多くの人たちが安心してウィンタースポーツを楽しんでもらうことを目的に事業者へ一定額を支援する。	村内でスキー場を運営する事業者 合計1事業者 支援金 1事業者×3,000,000円=3,000,000円	令和3年12月1日現在で村内でスキー場を運営する事業者	3,000,000	3,000,000	R3.12	R4.3	村内の経済に大きな影響を及ぼすスキー場に対し、新型コロナウイルス感染症対策に係る支援を行うことにより、観光客に対するイメージアップを図るとともに、村内経済の活性化を図ることができた。	企画観光課
29	子育て世帯への臨時特別給付金（先行給付金）（国庫補助横出し単独事業分）	国庫補助事業である子育て世帯への臨時特別給付金の対象外となる児童手当特例給付の受給者及び高校生を養育している者であって児童手当の特例給付相当の受給者である者に対して、村単独事業として対象児童1人につき10万円を給付する。（先行給付金分）	50,000円（先行給付金分）×13人=650,000円 合計 650,000円	国庫補助事業である子育て世帯への臨時特別給付金の対象外となる児童手当特例給付の受給者及び高校生を養育している者であって児童手当の特例給付相当の受給者である者	650,000	500,000	R3.12	R4.2	収入の減少並びに支出の増加が発生する中、給付金を支給することにより、国庫補助事業の対象外となる者に対し日常生活における経済的な負担の軽減を図ることができた。	住民福祉課
30	子育て世帯への臨時特別給付金（追加給付金）（国庫補助横出し単独事業分）	国庫補助事業である子育て世帯への臨時特別給付金の対象外となる児童手当特例給付の受給者及び高校生を養育している者であって児童手当の特例給付相当の受給者である者に対して、村単独事業として対象児童1人につき10万円を給付する。（追加給付金分）	50,000円（追加給付金分）×13人=650,000円 合計 650,000円	国庫補助事業である子育て世帯への臨時特別給付金の対象外となる児童手当特例給付の受給者及び高校生を養育している者であって児童手当の特例給付相当の受給者である者	650,000	500,000	R3.12	R4.2	収入の減少並びに支出の増加が発生する中、給付金を支給することにより、国庫補助事業の対象外となる者に対し日常生活における経済的な負担の軽減を図ることができた。	住民福祉課
31	村営住宅換気設備取替事業	村営住宅において、3密対策及び自宅療養者等の家庭内感染防止の観点から、住戸内に設置しているロスナイ本体で老朽化により換気性能が低下している箇所について交換工事を実施し換気性能の向上を図るとともに、冬期間でも適切な換気を行うことができる環境を整備する。	村営住宅1棟13戸 村営住宅換気設備取替工事 工事費用一式：4,100,100円×1.1=4,510,000円 合計 4,510,000円	村が実施	4,510,000	4,500,000	R3.6	R3.10	換気設備の交換により施設内の衛生面の環境整備を図ることができた。	建設課
計					61,682,123	52,009,000				

※計画書No.及び事業名は、国に提出した実施計画書に基づいた記載となっています。